

掲載順不同



森で休けい

磨いた面に、葉っぱが写り込むように角度を調整して置きました。



宿題と鏡

その場所を選んだ理由: よく使う自分の机で宿題をしているときに撮ろうと思ったから。



帰り道

家のすぐそばに小さな踏切があります。「ここを過ぎるともう家だな。早く帰ろう」と思いながら、夕焼けのなか、電車が通るのをぼんやり見入ってしまいます。金属なのになぜか温かみのあるやさしい作品を置いてみたら、仕事から家庭へと戻るための、わたしだけの大切な時間が切り取れた気がします。



楽しかったね

「傷だらけだったのをずっと磨いたんだよ」

「みてみて、顔も映るよ！」

楽しかった時間を、帰宅後も留守番をしていた祖父母や父親に一生懸命語る息子の姿が印象的でした。

「すべすべして気持ちいい」と布団にまで連れていき。。

無機質な金属なのにあたたかみのある作品はステキな夢を運んでくれそうです。

掲載順不同



LEGO と遊ぶ

LEGO で遊ぶのが楽しいから



だれのにききゅうかな？

がんばってみがいたら、ピカピカのかみみたいになったよ。これは、家でかっている犬のにききゅう。はっきりうつつて金ぞくはすごいね。



鋳物発見！！

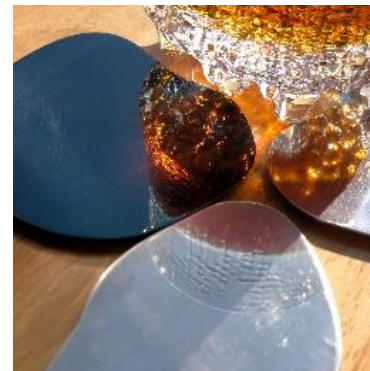
一番好きなおもちゃのレゴと合体させた。アルミをピカピカにできたのがうれしかったので、レゴ人間の顔をうつしてみた。



夏の記憶

刈り入れの終わった田んぼに展示しました。

青く澄んだ秋空を映した金属を稲の根元に置くと、この水田が氷を湛えていた、あの暑い夏の日が思い出されました。



溶ける

つららの氷が溶ける様子にインスピレーションを得て制作されたというグラス（イッタラ社「ウルティマツレー」タピオ・ヴィルッカラ）に添えてみました。ガラスのつらが溶け、金属の水たまりができました。



魔法陣！

よく行く公民館の壁画で、安野光雅さんの「魔法陣」という作品です。

掲載順不同



わたしのたからもの

その場所を選んだ理由 今までに見つけた大切な石たちゴツゴツした石たち、ツルツルした石たちと一緒にしてあげたいと思いました。

展示をしてどう感じたか ゴツゴツした石の中に光る金属がキレイで、伝説のカギを発見したような気持ちになりました。

こだわり より大好きなツルツルの石の中には勝木さんの作品を入れて、海の伝説のカギをイメージしました。



ちょっとひと息つきましょう

お菓子を作ったり、食べたりするのが大好きです。もちろんお茶の時間も。お菓子に乗せる器は、お茶の時間をさらに楽しくしてくれる大切なアイテム。器は素材や用途にこだわらず、花器を使ってみたり、紙に乗せてみたり。でも、錆びてしまう気がして金属の器に乗せたことがないような？いただいた青の作品と、作成したアルミの作品はどちらも錆びにくそう。これはきっとお菓子が映えるはず。うん。やっぱり楽しい時が過ごせそう。



少女は成長して海を手に入れました。

勝木さんの作品の美しさはもちろん、手で持てる、持ち運べる海である、というところに最も心惹かれました。海のないところで生まれ育った幼少期の記憶が関係しているのだろうと考え、それを素直に表した写真を撮ってみました。



日常の中の木々

勝木さんの作品と対になるように切り株のような形のアルミニウムを選び、磨く際も年輪を意識して丸く削りました。花模様のカーテンと植物繋がり合わせてみました。鏡面にしたアルミニウムに花が映り込むよう工夫しました。

掲載順不同



レンズ

金属は透明でした。



擬態

今回作った作品をセメントブロックの上に置いたとき、まるで擬態しているかのように感じこの場所を選びました。



空の描き写し

作品たちの形が好きでなぞってみました。今日は晴れていて気持ちがいい空と光でした。



ホイップクリーム

キラキラの反射するお皿があったらかわいいなと思い乗せました。綺麗ではないですが、階段の踊り場でバランスが好きな感じに撮れたのが嬉しかったです。

掲載順不同



海染魔境月染

とにかく光を反射すると美しかったので何かいい光源はないかなと思ってたときに月が出ていたのでいろんな角度で光を拾ってる時間が楽しかったです。

自分が磨いたアルミのほうでは出現しない線状の光が勝木さんの作品ですときれいに浮かび上がるのでまさに魔境と思いました。



共有する

私用でいつもの“お気に入りの場所”での撮影が叶わず。その代わり数日間常に持ち歩いて共に行動し、ささやかな“お気に入り”を写して見せてあげました。スマホで撮影すると、作品に映る風景と後ろの背景が一緒になってピントが合ってしまう。鉄なのに透けているようなところが好きな所です。



青に移る秋

近所のお気に入りの場所で撮影しました。